

NTT アノードエナジー株式会社 中期ビジョンの公表について

NTT アノードエナジー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊 基之）は、新たなエネルギー流通の仕組みを創出し持続可能な社会の実現をめざす、「NTT アノードエナジー中期ビジョン」を策定するとともに、昨日開催の設立記念式典において内容を公表したので、お知らせいたします。

■ 中期ビジョンの主な内容

NTT アノードエナジーは、NTT グループの保有する資産や ICT 技術・直流給電技術等を活用した「スマートエネルギー事業」の推進による持続可能な社会の実現に向け、以下の役割を果たしてまいります。

1. 顧客価値創造

再生可能エネルギーや蓄電池等の分散エネルギーリソースによるソリューションの提供を通じコネクテッドバリューチェーンを構築し、エネルギー利用の効率化・価値向上による産業活性化を実現していく

2. 社会基盤の強化

ICT とデータを活用した自律的・最適な制御により、エネルギー利用の高度化を可能とする新たな分散型システムを構築し、既存の電力供給システムを補完することで、地域社会・コミュニティにレジリエントで安定したエネルギーを提供していく

3. 環境適合

再生可能エネルギーを中心としたエネルギーを確保し、地産地消可能な環境価値の高い電源として最大限活用していくことで、エネルギーの循環型社会を実現していく

当社は NTT グループにおけるエネルギー事業の事業推進会社として、子会社である電力小売事業を営むエネット、太陽光発電の見える化サービスなどを展開する NTT スマイルエナジーとともに、グループ

各社との連携を一層強化し、NTTグループのシナジーを最大限に発揮していきます。また、パートナー企業の皆様との多種多様な分野におけるアライアンスを推進することで、地域社会・産業活性化へ貢献してまいります。

■ 添付資料

スマートエネルギー事業の取り組み

以上

【本件についてのお問い合わせ】
NTTアノードエナジー株式会社
03-6738-3211

スマートエネルギー事業の取り組み

2019年11月11日

NTTアノードエナジー株式会社

顧客価値創造

コネクテッドバリューチェーンによる
産業活性化

社会基盤の強化

分散型システムによる
エネルギー利用の高度化

環境適合

再生可能エネルギーを中心とした
循環型社会の実現

エネルギー流通を補完する新たな仕組みを創り上げ、
持続可能な社会を実現

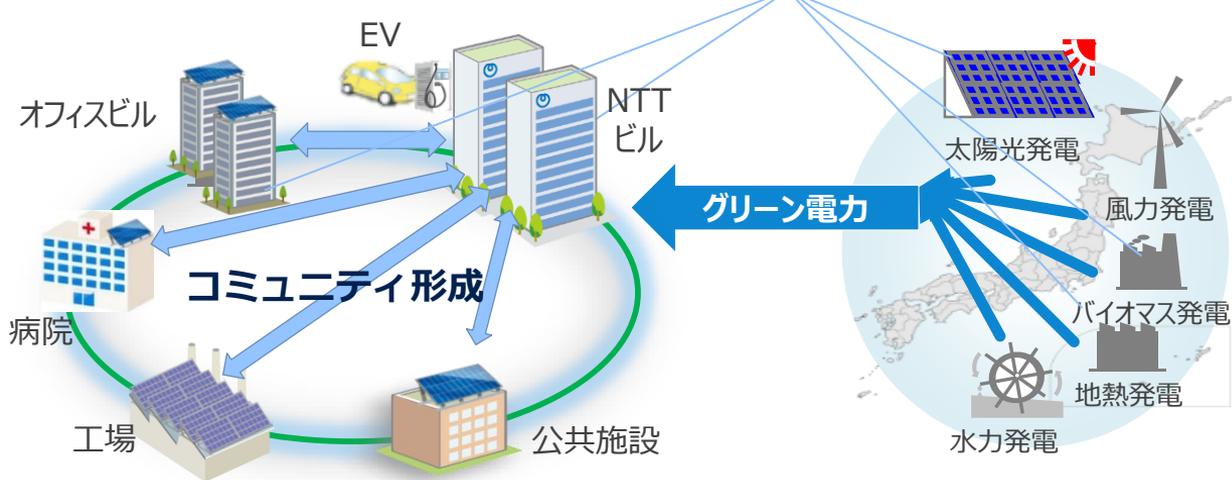
5つの事業を展開 (B2B2Xモデル)

バックアップ電源事業

多拠点をコミュニティ化・
地域レジリエンス強化

VPP(仮想発電所)事業

リソース集約・需給調整



グリーン電力 発電事業

地産地消電源・
環境価値活用

新サービス事業

EV充電環境の整備・
エネルギーデータプラットフォーム提供

売上規模:6,000億円
(2025)

電力小売事業

環境価値のあるエネルギー提供

コネクテッドバリューチェーン構築

エネルギーの価値が循環する社会

エネルギー価値向上

- ・再エネ発電・調達
- ・直流グリッド (交流系統へオーバーレイ)
- ・分散エネルギー基盤 (蓄電池、EV、ICT)

レジリエンス向上
環境価値
コスト低廉化

社会基盤構築

産業活性化

災害対策への適用

大規模災害発生時、避難所等へ電力供給



農業連携への適用

地熱発電×ICTによるエコ・スマート温室栽培



温水

電気



分散エネルギー基盤へ積極投資

再エネ



EV関連



蓄電池



ICT



投資規模
1,000億円/年

2020

2025

多種多様な分野でアライアンスを推進

NTT
アノードエナジー



NTT SMILE ENERGY



資本提携

・
業務提携

・
出資

再エネ電源開発

蓄電池

直流機器/EV

営業/販売チャネル

・
・
・



NTTアノードエナジー